JAにしみの 営農情報 R7.6月

Topic 春夏のジャンボタニシ対策

にしみの管内にて毎年ジャンボタニシ被害が多発しています！
水田に侵入させない＋増殖させないための対策が必要です！

ジャンボタニシの生態（和名：スクミリンゴガイ）

- 冬期は土中や用水路などで越冬し、暖かくなると活動を開始する。
- 若くて柔らかい苗（田植え直後～田植え後3週間頃まで）を好んで食害する。
- 孵化から2ヶ月ほどで産卵できるようになり、繁殖力が高い。

ジャンボタニシ被害対策　～春夏編～

1 圃場への侵入を防ぎましょう

- ジャンボタニシは用水路等で越冬します。田んぼの入水とともにジャンボタニシも侵入するため、水路（特に排水路）との出入口に9㎜目合い程度の網を設置しましょう。

2 卵塊の除去を行いましょう

- ジャンボタニシの卵塊は、鮮やかなピンク色が特徴です。
- 卵塊は水中では孵化することができないため、見つけ次第水中に落として駆除しましょう。
- 孵化直前の黒色～白色の卵塊は水中でも孵化ができるため、圃場外に持ち出すか、潰して駆除しましょう。

⚠ 卵塊には毒があるため素手で触らない！！

3 浅水管理で活動を抑制しましょう

- 水深が浅いとジャンボタニシの活動が抑えられるため、ジャンボタニシが発生した場合は、水深が1～3㎝になるように管理しましょう。
- ただし田面が露出すると雑草が発生しやすくなるので、細かい水管理が必要です。

水深が深い箇所が食害を受けた圃場

4 農薬を活用して駆除しましょう

- 被害が大きい圃場や、毎年ジャンボタニシが多発生する圃場では、農薬の散布が効果的です。
- 多発生している場合は、最大使用量の4kg/10a使用が効果的です。

【推奨薬剤】スクミノン（2kg、10kg規格）

農薬名	使用量(/10a)	使用時期	使用回数	使用方法
スクミノン	1～4kg	収穫60日前まで	2回以内	散布又は無人航空機による散布

身近な材料で作る！

「苗箱を活用したジャンボタニシ捕獲器の作り方」
JAにしみの公式YouTubeチャンネルで公開中！

YouTube動画QRコード

ジャンボタニシの発生は広範囲にわたるため、地域ぐるみでの対策が効果的で重要です！

令和7年4月　西濃農林事務所　農業普及課監修